

(付属資料等)

資 料 1

資 料 2

基 本 表

付 録 (状況調査項目)

用 語 解 説

参 考 文 献

## < 資料 1 >

### 1.お伺いしたいこと

- ・ 現在の年齢
- ・ 学校を卒業したときの年齢
- ・ 最近の（最も新しい）就職をしたときの年齢
- ・ 今までで最も長く経験した仕事・職種はどんなものでしたか。  
それはいつ頃で、全部でどのくらいの年数を経験しましたか。  
そのなかで、最も長く続いたのは何年ですか。
- ・ これまでで職業人生に最も意義があると思う仕事、有意義だと思う仕事はありますか。  
それはなんですか。どうしてそう思われるのですか。
- ・ 就職を希望している仕事について、何故、それを希望されるのですか。求める条件はなんですか。
- ・ 希望している仕事について、その仕事をしている自分がどういう仕事をどういうところでしているか想像できますか。周囲にどういう人たちがいるかについてはどうですか。そうして働いているあなたを家族の方がどのようにみているか、考えているか想像できますか。  
その希望職種は訓練を開始した時と変わりましたか。想像できる程度は訓練を開始した時と今とでは同じですか、違っていませんか。
- ・ 今回、離職してから、現在までに求職活動としてどういうことをされてきましたか。とくに、就職に関する情報はどういうところから取りましたか。
- ・ 必要な情報の取り方など求職活動の仕方は、訓練を開始したときと今ではどこか変わりましたか。  
とくに支援者として役立ってくれた方や効果的な協力をしてくれた人はいますか。
- ・ 就職を目指す時期に、ほかの受講生と一緒に、学校の中で訓練を受けていることについてどう思われますか。
- ・ 職業訓練は求職活動の面からは、どのように評価されますか。ご感想でも良いし、役立ち方や効果への考え方もよいので、どう思われていますか。
- ・ 就職の実現の見通しは、いかがですか。

< 資料2 >

～それぞれについて、あなたの考え方にちかいものを選んでください～

	そう思う	まあまあ そう思う	あまり そう思わない	まったく そう思わない
本当にやりたい仕事でなければ就職すべきでない				
自分の興味や関心にこだわるより、採用されることが重要だ				
どんな仕事でも精一杯努力すればうまくやっていける				
仕事を選ぶには自分のことをよく知る必要がある				
いろいろな仕事に挑戦してみるべきだ				
職場に新しい技術・技能が導入されたら積極的に学ぶべきだ				
やっていける自信のある仕事は一つしか考えられない				
本当は何が自分に適した仕事なのかわからない				
自分の人生の中で職業を通して何をしたいかはわかっている				
自分のセールスポイントが何かは知っている				
求人者の立場でみたら、自分がどうみえるかをよく考える				
就職に関係する情報や支援は自分でかなり探せる				

基本表 表2 検討項目別対象者の状況

対象者	年代	性別	最長職種の内容	最長職種の経験年数	有意義職種の内容	希望職種の実態を知っている状況	有意義職種と最長職種の関係	受講職種と希望職種の関係
1	30	男性	ウェブサイトの管理	2.5～3年	ウェブサイトの立ち上げ	ネットワーク系職種:前職の関係で職場を行き来して身近に見て知っている。	高	一致
2	30	女性	中古CDの販売	8年	販売での対人業務	ウェブデザイン(インターネット画面のデザイン):学校へ通って勉強して、関係の仕事に就職したことがある。	有	ほぼ一致
3	20	男性	警備の仕事	2年半	警備で正社員だった。チームワークが感じられた仕事	電気工事士:警備の仕事をしたときから希望があった。また、電気関係の会社に勤めている。現場を見て知っている。	有	一致
4	30	女性	広告代理店の営業アシスタント	8年	顧客を満足させる仕事	ウェブコンテンツの作成→安定所で指導を受けて、ホームページ作成のディレクション業務:元上司の職場に手伝いに行っ て経験がある	有	一致
5	30	女性	企業広報に関わる一般事務	10年	消費者対応。会社と社会との窓口業務	ウェブマスター:経験はないが前の勤務先で見たことがある。	無	一致
6	20	男性	通信事業会社のカスタマサポート	3年	ネットワークの仕事:対人技術、インターネット、PC技術を身につけた	システム関係の技術者:経験はないが話を聞いている。	高	一致
7	40	男性	建材関係の営業	10～11年	建材の営業:人が相手なので、見識を広め、世のあり方を知り、知識を吸収した。	建築の企画営業:業界事情を知っている。見たり聞いたりして知識がある。	高	一致
8	40	男性	ビルの設備管理	8.5年	事務職での原価計算、会計処理	当初は施工管理;自宅を建設して興味をもった。しかし、今は構造設計;訓練中に興味を持った。訓練内容にはない。	無	当初は、ほぼ一致。今は一致度が低い。

対象者	年代	性別	最長職種の内容	最長職種の経験年数	有意義職種の内容	希望職種の実態を知っている状況	有意義職種と最長職種の関係	受講職種と希望職種の関係
9	20	女性	営業事務に近い一般事務	2年	洋服の販売(対人);人と関わる仕事	インテリア、建築の内装関係:もともと興味があった。前職が建築関係企業の事務で、勉強しようと思った。事務でもよい。	無	一致:必ずしも一つに絞っていない。
10	30	女性	婦人服の販売	8年	ホームヘルパー;理想だけではやっていけない。他人事でないといろいろ考えさせられた。	住宅関連コーディネーター:福祉のリフォームを有意義職種の経験から有効性と必要性を知った。	有	一致
11	50	男性	設計	28年	品質管理	CADを使った設計関係;自分は経験していないが、部下に指示してやらせていた。	無	一致
12	30	男性	電気メーカーの製造工	9年	組み立て	電気関係の製造または保全;電気はある程度経験があるが機械は知らない。機械保全は、訓練で勉強した。	高	一致
13	30	男性	クレーン運転	10年	クレーン運転	クレーンを希望職種と書いた。高校が機械科だった。前の勤務先も機械関係だったので、幅広い訓練内容に免疫があった。関連の知識と見聞がある。	高	一致度は低い
14	40	男性	経理事務	5年	なし	安定所ですすめられてビル管理を希望;知識はまったくない。	(有意義職種がない)	あいまい

(注) 表中の→は訓練期間中の変化があった場合の方向を示す。

対象者	希望職種について想像できる状況	訓練期間中の意識の変化	専門相談支援者(求職活動支援で特に相談した者)
1	経験職業と同じ業界なので最初から明確だったが、興味の幅が勉強しながら広がった。	「どうなるのか」と不安→資格試験の勉強→やりたいことの勉強を付加→「それなりのことはやった」と不安なく就職活動	キャリアコンサルタントとよく雑談に行くなどして話した。制度があるのだから活用した。
2	なんとなくわかる→作業ははっきりわかる、周囲とのやりとりはわからない	「授業が沢山あって勉強が楽しく、期待が一杯」→中間期にこなせきれずストレス→自分の必要で選択→落ち着く	技能を習得して、自分の作品をもって廻る予定でしたが、安定所紹介を受け、就職。キャリアコンサルタントには面接や履歴書などのアドバイス。
3	みんなで仲良くやっているという雰囲気はわかるけれど、細かいところはイメージがつきにくい。	技能習得を計画通りにすすめた。社会からかけ離れた感じの環境で、もうそろそろ身を固めようと本格的に就職活動したら、ちょうど見つかった。	アドバイザーとは話をした。幅広くいろいろな活用。
4	手伝い程度の経験があり、イメージは他の人よりはっきりしている。	自分の整理が出来た→求職の動き方を知った→訓練を受けていることで意欲を評価された→人間関係を広げた→就職決定	キャリアコンサルタント:職務経歴書、キャリアシートが自分の整理に役立つ。講師からも助言があった。
5	職場、周囲はわかる→全体としてイメージは良くできている	最初から、学ぶこと及び訓練の場所が楽しい場だと感じた。技能を身につけること、「知る」ことの素晴らしさを知った。今でもそれを感じる。	キャリアコンサルタント:実務経験が全くないのであまり紹介してもらえなかった。助言で過小評価の是正、いろいろな仕事があることを知り自信になった。
6	イメージはつかめ。全体像はつかめている。	技術者に転身する予定で期待して入校→訓練レベルが低いので自分で補う→資格取得で達成感→企業に受講を評価されないので失望(実務経験がないため)	
7	理解が深まり、より鮮明になった。実際に作業をやってみたので、外から見ているときよりもはっきりした。	最初は、この年齢で訓練ということにマイナスのイメージがあり抵抗感があった。1ヶ月目は勉強が結構難しい。2ヶ月目以降は理解できるようになり、知識が増えて楽しく嬉しい。終了が近づくときと求人年齢ギャップを感じて困惑。	
8	当初の希望職種は見たことがある。今の希望職種は見たことはないが、話をきいた。	希望職種が絞られた。訓練は建築でやっていくなら構造設計しかないという気づきの期間。	

(注) 表中の→は訓練期間中の変化があった場合の方向を示す。

対象者	希望職種について想像できる状況	訓練期間中の意識の変化	専門相談支援者(求職活動支援で特に相談した者)
9	なんとなく。→入校後に就職のために希望を広げたのでそれ以上にはなっていない。	求人票の見方などに理解が少し深くなったような気がする。今後は働きながらも勉強したいと思うようになった。	転職経験があり、求職活動の経験はある。キャリアコンサルタントの助言はその復習のようになった。
10	親の仕事と縁があるし、関係の資格(3級)を既にとっている。イメージはある。見たことや知識がある。	入校前に大まかなことしか聞いていなかったので準備が出来ないなど、これからどうなるかと不安→頑張らなければと一時は凹んだ→今更やって役に立つのかと悩んだ→人それぞれだと実感。葛藤は自分だけではないと知る→自分の好き嫌いがはっきりわかる。	
11	前の職場で部下にやらせていた。見たこと、管理したことがあるが具体的にはわからない。直接やったことはない。	CADが出来ないとダメといわれて勉強しようと入校→今年すんなり就職できると思った→CADが三次元変わった→三次元をやろうと思った→実務経験ないので、今は二次元で行く予定。電気工事士ほか4つくらい資格を取った。	最初は、前の会社が世話してくれた民間就職支援会社。
12	経験したものはわかるが、それ以外はある程度まで。	失業して不安で不眠→無職よりもすることができて余裕→受講生仲間と情報交換が出来るようになり不安解消→面接で不採用が続き落ち込む→仲間が就職決まって寂しい→「早く決めないと」と仲間で話し合う。	安定所、履歴書の書き方を書いた市販本
13	前の勤務先でもよく見たし、高校で勉強したことも関係分野なので、ある程度の知識はある。	一年生のつもりで気張って勉強(就職自体は深く考えない)→資格試験合格→気が抜けた→好きな試験勉強を自分なりに始めて気が張る→授業が少なくなり、求職活動に集中→就職の実現度や賃金を考えて職種を絞ることが悩み。	
14	ほとんどイメージが持てない。	説明会のあとから自分で探している資格を取ったが、そのほかは特に変わらない。会社と違って、基本的に上下関係がないし、楽しかった。	

対象者	就職に必要な情報の入手チャンネル	訓練の求職活動に対する効果(技能面)	訓練の求職活動に対する効果(技能以外の面)	家族の自己に対する評価	受講前の訓練に対する希望の状況
1	インターネット、外部講師(雑談の中で情報の所在を知った)、コンピュータ専門誌	技術の深みがでた。忘れていた知識を思い出した。技術向上。	異質集団との出会いによる人間的な面での勉強。視野のひろがり。興味・適性を理解。	「(失業中に)行くところがあって良かったね」という感じ	訓練内容でやりたいことが決まっていた。
2	インターネットをみて、自分で就職に必要な条件をチェック。それでこういうところが必要だからと講師に教えてくれるように希望を出した。	すぐく上達した。それまで知らなかったことを「知っている自分」が驚き。ただのデザイン以上にまで職種が広がった。受講生同士で技能を教え合った。	異経験、異年齢でしかも、受講中で求職者という共通性がある人々との交流から、人間的な面で視野が広がると同時に、支え合った。求人者へのセールスポイントを知った。	そうか、こんなこと勉強しているととはという感じで。	訓練内容でやりたいことが決まっていた。子供の頃からデザインに興味があった。
3	安定所、能開校のアドバイザー、チラシ	目標を定めて計画したとおりのことは実現した。	異年齢の受講生仲間が助言したり、注意してくれる(自分が最年下)。貴重な社会勉強をした。大切にしたい。	一生懸命頑張っている、勉強頑張っている、すごいと思われる。	希望をはっきりしていたので、入校前から計画して受講し、求職活動をした。
4	受講開始直後は知識がなくて就職に動けなかった。知識を得るに当たって、知人等人間関係を広げながら動いた。	広く浅く学べて目的にあった技能を習得した。いくら勉強しても時間が足りないと思う。	自分に向き合えた。高年齢の就職がいかに難しいかなど知った。いろいろな人と接してメンタルな部分でも良かった。忙しい会社員生活から脱して、元気になった。次の職場では肩の力を少し抜けると思う。	(なにもしていないよりも)仕事している方が生き生きしているといわれることがある。	希望職種と訓練内容をよく知ってから入校した。
5	派遣会社に登録。求人誌の定期購読	全くの白紙から初めて、仕事としてやれるということまで来た。受講生同士で教え合った。	この年齢で勉強できることはありがたい。いろいろな仕事があることを知った。受講生同士で企業関係情報などを教え合った。学校に安定所の求人情報も入る。	受講と求職を応援してくれている。この年齢で勉強できることはありがたいと思っている。	希望職種を明確にしてハローワークからこの訓練コースを紹介された。
6	インターネットが中心。情報誌、知人。	訓練レベルが低いので、直接は効果がない。自分で補った。			訓練内容でやりたいことが決まっていた。だから入校した。
7	以前の仕事仲間、インターネット、安定所、人材銀行。受講開始の頃からやっていた。ただし、訓練受講中は時間的制約が出て、少し活動が減少した。	間違いなく知識が増える。基本を覚えるので応用が利くようになる。	多様な考え方があること、年齢や性別に関係なく、苦勞し努力している姿を知ること、こういう時代だから勝ち残っていくという感覚を日常会話から知らされる。自分のやりたいことの再認識、能力の確認ができる。	次の仕事に巡り合うためには「頑張るしかないでしょう」という感じている。	希望職種に合う訓練職種を選んだ。
8	新聞広告、インターネット	広く浅く、わかるわからないも関係ない。もっと特化してはどうか。このまますぐに仕事に就ける内容ではない。	レベルの高い先生と若い受講生仲間がいて「活気」があり頑張っているのを見て、「頑張らなくてはい」と思う。刺激になる。いろいろな人と話せて、自分を考える期間があった。	なにもいわない。やりたいようにやらせてくれているのだろうか。	興味を持った職種を選んだ。



対象者	就職に必要な情報の入手チャンネル	訓練の求職活動に対する効果(技能面)	訓練の求職活動に対する効果(技能以外の面)	家族の自己に対する評価	受講前の訓練に対する希望の状況
9	まだ具体的に動いていない。求人情報誌を見ることはみている。入校前も求職活動はほとんどしなかった。	検定(2級)には合格したが、広く浅くの訓練なので専門的とは思えない。	異年齢の交流で訓練以外で教え合い面白く楽しく就職後に役立つことが学べた。生活リズムが保てたし、ただ就職活動していたというより基礎的なことを学んだということで、就職にも良いだろう。	ほんとにいい仕事があれば早めに探して就職すればいいし、自分のやりたいように計画できればよいと考えている。	入校前の待機中に自分で勉強して関係の検定を受けた。3級には合格した。
10	インターネットが主。インターネットは便利でよい訓練校のアドバイザーが少し。職種によって変える。ショールーム関係は新聞の折り込み広告と無料の地域求人紙。事務関係は安定所のネット情報。	浅く広くで希望職種についていろいろな角度からみる事ができた。実際にやってみて、自分の得手不得手が理解できる。経験ゼロからやったので受講が役立った。	同じ目標で同じ時間を過ごしながらそれぞれに個性が違うことを実感し、知らないこと知らない考え方を知り刺激になる。ものを広い範囲で考えられるようになる。前向きになったらいつでも出来ると考えられるようになった。	勉強していることを褒めてもらっている。まさかこういう風になる(勉強する)とは思わなかったと褒めてくれる。	前職を続けたかったが体力等の理由で辞めた。希望職種ははっきりしていたが、訓練内容はわからなかった。
11	民間就職支援会社、人材銀行、シニヤワークにも登録。支援会社を通じてインターネット情報や安定所情報を見る。	電気工事士ほか4つくらい資格を取ったので、それにつれて就職の道が拡大した。設計業務プラス設備管理も出来るようになったなど、プラスになった。	年齢、経験職種がさまざまな人と受講し、いろいろな考え方、理解の仕方があり面白いと思ったが、それで自分の考えが変わったわけではない。求人票を選ぶときの選択条件が広がり、選び方が変わった。	息子が「資格を取ったって使ってくれるところがあるかどうか」といったが、あとは何もいっていない。	資格を取るために入校した。CADが訓練内容に入っているので選んだ。
12	安定所が主。ほかに、情報誌、インターネット	机上だけでなく実習があり、社会に出てから役立つ。ものを覚える手応えを感じる。資格は1つしか取れなかった。まったく出来なかったパソコンの初歩ができるようになった。勉強になったし、就職に役立つ	受講生仲間と教え合い、いろいろな情報交換して専門分野でない知識が身に付いた。いろいろな人がいて情報交換し、支え合った。		経験にプラスして仕事探しに有利になる訓練内容を選んだ。経験と同じ業界を選んだ。
13	安定所	資格が取れた。専門的にまではいかないが、表面的なことはわかる。それは求職活動で役立つ。実際に仕事が出る水準かどうかは別として、授業を受けると「確かに自分はここまで来たな」と実感できる。	求人を選び方が資格を取ったことで変わった。違う世界だと思っていた求人を見られるようになった。広くなり内容の読み方が変わった。異年齢、異経験の人々と一緒に受講し、幅広い情報交換が出来ているいろいろなことや考え方を聞いて知った。知っているのといないのとはもの考え方が違うだろう。	試験勉強していると「なんかやってるな」という感じている。	もともと馴染みのあった機械関係を失業を機会に勉強してみたかった。就職までに1年あるからとりあえず勉強。
14	安定所	資格は取れた。危険物、ボイラー、電気工事、消防設備士、ビジネス検定などいくつかとった。資格情報は自分で集めた。	受講中は上下関係もなく楽しかった。お金をもらいながら勉強できるので、目先の飯のことだけ考えて働かなくても良い。	家族はいない	安定所に教えられて、まあいいかなという感じだった。

対象者	訓練の総括的評価	職業の意味	就職の条件	訓練に関する特記事項
1	有意義だったの一言。資格の受験勉強だけでなく自分のやりたいことを自分で勉強していくと訓練内容と重なって興味が変わった。それなりのことはしたと思っている。こっから選んでいた。	仕事とはやりたいことがあるものだ。	仕事の内容：ネットワーク系だがハードにも広がって良い。	受講中に自分で勉強しなくてはと思った。それで興味が広がった。それなりのことはしたと思っている。
2	1年前に知らなかった事を自分が分っているということに自分自身が驚き。遠くに通学した広大なキャンパスという環境が印象に残る。訓練は目的がはっきりあると役に立つ。漠然と勉強していても結局何をやりたいかわからないままになって、どれも手つかずになる。	仕事は達成感があって楽しい。ずっとやりたい。	ハードで給料が安くても、興味のある好きなことをやる。	入校前は、派遣会社に登録して、単発で仕事をしながら就職活動をした。受けてみようと思うところをピックアップした。作品を持って廻ろうとしていたら求人があり、採用になった。
3	社会に出てからの学びの場。世代を越えての勉強仲間がいる一番貴重な時間。学校だけが勉強の場ではない。能開校は社会勉強。自分自身が見つめて、自分自身の中で整理しないと違いが理解できない。	仲間意識が持てるものがメージできる。	電気の技術を使う職種	自分で習得したいことと、就職する時期を定めて計画を作って動いてきた。勉強の目標が達成するまでは就職活動をする気にならなかった。結果はほぼ計画のとおりに進んだ。
4	もっと早く受講すれば良かった。いろいろ学び、自分が元気になった。希望職種を決めて、目的をはっきりさせること。結局、自分の意欲の問題。	仕事をするのは自分のテンションを保つこと。仕事をしている方が生き生きしているといわれる。	夢中になってやれること	訓練校は一つの切っ掛け。依存心はない。就職が決まれば訓練はやめても良いと思っていたので、知人を訪ねるなど自分から求職に動いた。
5	パソコンの組み立ては衝撃的経験。基礎を知らないと積めないことを知った。受講開始直後のキャリアコンサルティングで、希望職種を設定し、その関連で授業内容、学習の重点を理解した。	組織に入って仕事を通じて自己実現をしつつ私生活を充実したい。	ある程度は職種だが、前職も含めた全体としての自分が評価されるだろう。	一から学ぶ訓練。知らないことが恥ずかしくない指導法なのでよかった。派遣会社に登録している。
6	水準が狙ったものより低い。自分で補った。広く浅くで、自分には効果がない。キャリアコンサルタントは業界に暗い。自分のニーズに合わない。	働くことは生活の手段。働かねばならないのなら苦痛でなくて、難しくてもチャレンジできる仕事をしたい。	勉強を生かして、目指す高度技術者へのステップアップになる仕事	訓練は最終的な目標の高度技術者になるための一つのステップ。そのレベルが期待より低い。
7	失業当初はショックだったが、入校して和らいだ。自分に一番抜けていた基礎の部分を勉強出来ると冷静な職業選択をすすめる気持ちの支えになる。受講したメリットは大きいですが、求人がないので生かせない。求人があれば受講は強みになる。	収入は現実問題として重要だが、それを前面に出すと人生のあきらめにつながりかねない。	職種。建築の企画営業をやりたい。不慣れな仕事や合わない仕事は長続きしないと思う。	訓練は次のステップとしてきちんと学ぶ良い機会だと思っている。通学をないがしろにしたいくない。
8	建築関係に仲間が誰もいなかった。先生や受講生仲間と知り合い、今後のつきあいも期待できるので、よかった。同じ世代の仲間と訓練をするのも良い。	人生は1回なので、1度はやりたいことにトライしたい。しかし、最後は食べていくため。	建築関係でなにかしたい。どうしても就職口がないならビル管理でもと思う。	事務職の原価計算経験が建築の構造計算の能力に通じると思う。

対象者	訓練の総括的評価	職業の意味	就職の条件	訓練に関する特記事項
9	失業期間を一人でいるよりも訓練を受けた方が刺激を受けられるのでよい。勉強したということで、求職活動の条件は良くなった。いろいろな年齢の人と学ぶ方がよい。	生活費は必要。その中で生き甲斐を感じたい。何もしないで生きていけないので、しっかり働きたい。	就職はしないといけないので、職種を広げても良い。	
10	訓練は自分自身を知る場所。勉強するのは自分のためだし、勉強したいからするのだという感覚が湧いた。入校前に見失っていたものを取り戻した。今、一緒にやっている仲間と会えて得たものはそれまでの人間関係や仕事との関係とは違うものだ。	仕事にのめり込むタイプ。生活のためと割り切る部分が必要だと考え始めている。	生活のためと割り切る部分を入れて、希望職種の幅を広げようと思う。	父親が建築関係で外構、塗装をやっていた。子供の頃から建築設計図面、工具などをみていた。ああ、これだと思うなど馴染みがある。
11	いろいろな人がいて面白かった。マスターベーションかもしれないが資格が取れて、プラスになった。		設計関係の職種	機械設計屋が今までの経験プラスαをやると思えば就職に役立つと思い、やってきて、ある程度達成できた。しかし、そのプラスαの部分で就職は、まだ、決まっていない。引き続きその方針で探す予定。
12	有意義だった。社会に出てから勉強することはまずなかったのに、勉強することが出来た。長い人生、山あり、谷ありだ。勉強することは良いことだ。		電気関連は絶対に譲れない	実は、スキルアップのために転職した。もの作りが好きで、もの作りに喜びと充実感を感じる。
13	幅広く勉強してそれは意味があるが、しかし、自分は受講しているよりも、就職して働いていた方が自分の為になったような気がしなしてもない。人それぞれだ。入校すると学生に返れる。就職は自分次第だ。資格試験はモチベーションを保つ唯一の道具。	仕事の内容が大切だが、キャリアを積みまでは給料が安くなるとすれば困るので、悩む。	労働条件よりも自分の能力との適合性(ここに決めてやれるか、できるかどうか)	キャリアを生かして就職するのが理想。
14	お金をもらいながら勉強できるので、よいところだった。	食うため。	クビになりずらいところ。年をとってから働けるところ。	事業所閉鎖で関連会社に行ってくれと言われて退職。家族がない一人暮らし。貯金もない。

対象者	職業への態度の変化	就職内定の有無
1	「適性がわからない」; 適性や自信のある仕事ができるようになった。	有
2	「適性がわからない」; 先生に「まあ大丈夫だろう」と皆の中で言われて安心し、嬉しかった。それで「これでいい」と思った。「セールスポイント」; キャリアコンサルタントから教えられた。	有
3	「いろいろな仕事に挑戦」 「新規導入技術の学習」; 前の会社を辞めなければ考えられないこと。ごく最近、自分がわかって整理がついて。	有
4	「本当にやりたい仕事」 「適性がわからない」 「求人者からみた自分」 「自分で探せる」; 年齢とか向き不向きというのはいっと意識すべきだと思う。もっと意識が低かった。前職に対してのプラス的な考え方を把握した。	有
5	「自分で探せる」; 求人誌に載っていない情報や安定所の情報が入るので広がった。	無
6	変わらない。	無
7	「いろいろな仕事に挑戦」 「新規導入技術の学習」 「求人者からみた自分」 「自分で探せる」	無
8	変わらない。	無

対象者	職業への態度の変化	就職内定の有無
9	変わらない。	無
10	「本当にやりたい仕事」「適性がわからない」「職業を通してやりたいこと」「自分で探せる」; 広く考えられるようになった。クヨクヨ考えすぎずに前向きになった。	無
11	変わらない。	無
12	「興味より採用が重要」; 生きていく以上収入が必要。ホームレスになるなんて考えてしまう。	無
13	「興味より採用が重要」: 前は採用されることが一番だと思っていたが、今はそうとも思えない。「自分を知る」: 面接に行くと、(その結果を受けて) 自分のことを考える。	無
14	変わらない。	無

# 付録

## 状況調査項目

### < (状況把握のための) 検討項目 >

a. 年齢、b.性別、c. 初職に就いた年齢、d. 最も近い転職をしたときの年齢、e. 最長職種の内容、f. 最長職種の継続年数（最長職種で最も長く継続したときの年数）、g. 有意義職種（職業経験として最も意義があったと思っている職種）の内容、h. 希望職種の実態を知っている状況、i. 有意義職種と最長職種の関係、j. 受講職種と希望職種の関係、k. 希望職種について想像できる状況、l. 職業経歴に関する留意事項、m. 訓練期間中の意識の変化、n. 専門相談支援者（求職活動支援で特に相談した者）、o. 就職に必要な情報の入手チャンネル、p. 職業訓練の求職活動に対する効果（技能面）、q. 訓練の求職活動に対する効果（技能以外の面）、r. 職業訓練を受けている自己に対する家族の評価、s. 受講前の訓練に対する希望の状況、t. 訓練についての総括的評価、u. 職業の意味（職業とはどういうものだと思っているか）、v. 就職の条件、w. 職業訓練に関する特記事項、x. 職業への態度の変化、y. 就職内定の有無

### < 就職見通しが明るい者の特徴 >

- ①受講開始時から希望職種の実態を理解している程度が高い。
- ②受講開始時から希望職種の作業内容、現場について比較的よく想像できる。
- ③希望職種の作業内容、現場について想像できる程度が受講期間中に向上する。
- ④受講が終了する直前には、家族の自分に対する見方を比較的よく想像できる。
- ⑤職業に関する自己の態度、考え方についての理解度が受講期間中に向上する。
- ⑥就職して職業に適応していくことについての自己効力感が受講期間中に向上する。
- ⑦受講職種と希望職種を一致させているか、一致していない場合も両職種に強い関連性を持たせようとする。
- ⑧就職に必要な情報は利用可能なチャンネルを幅広く利用し、積極的に自分から入手する。
- ⑨周囲から支援が提供されることに対して積極的に受容する。
- ⑩受講開始時から、訓練に対する期待が大きい。
- ⑪職業訓練に効果があると考えている。
- ⑫訓練期間が終了する以前に就職しようとしている。

## <内定者間の共通点>

- a.希望職種：やりたいことが訓練開始前から決まっており、実態を具体的に理解していた。
- b.就職希望職種の実態を知っている状況：現場に行って一定以上の時間をかけて実態をみたり、手伝いなどの体験をしたことがある。
- c.有意義職種と最長職種との関係：有
- d.受講の求職活動における位置：やりたいことが決まっていて、訓練内容をよく知って入校した。訓練期間中の始めから最後まで両職種の関係は一致度が高い。
- e.希望職種について想像できる状況：何がどのように「わかる」かを表現する。
- f.訓練期間中の意識の変化：就職への接近を図ることで安定化、計画の円滑な進展がある。
- g. 専門相談支援者（求職活動支援でとくに相談した者）：設けられている制度はプラスの方向で評価し、使おうとする。たとえば、キャリアコンサルタント（アドバイザー）を相談相手として活用。履歴書の書き方や面接方法などコンサルタントの得意分野で助言を引き出して活用している。
- h.情報の入手チャンネル：自分から動いて、援助に近づく。とくに、身近な援助をプラスに評価して活用する。能動性、計画性、自主性、積極性がある。人間関係のなかでの情報収集と情報整理が認められる。
- i.受講の効果（技能面）：大きな効果があったとの表現や目的や目標を達成したとのプラスの評価をする。
- j.受講の効果（技能以外の面）：視野の拡大と同時にほかに具体的な就職活動に関する収穫を得ている。
- k.家族の自己に対する評価：求職活動とそのための受講に対して肯定的な感じがあると思っている。ただし、自分自身の自主的行動として就職し、受講しているという自覚が強いので、それに対する肯定感である。
- l. 訓練の総括的評価：積極的肯定及び自分自身のプラス方向への変化の明確な認識がある。
- m. 就職の条件：仕事の内容を重視。しかし、当面の就職の選択方針は中核となる職種があり、それを含んだ一定の広がりを持たせたものとしており、狭い範囲にこだわらない。
- n. 職業の意味：仕事をするのが快であり、仕事をしている自分を好ましいと感じている。
- o. 訓練に関する特記事項：就職を優先して考えており、そのための計画的行動がみられるなど就職への距離を縮めようとする就職への自主的接近がある。
- p. 受講前における訓練に対する希望の状況：希望職種と訓練内容との関係が受講前から自分の意識上で明確になっており、やりたいことに合わせて受講コース、科目を選択した。受講中は、自分から指導内容について希望を出すなどして目的を遂げようとする。
- q. 職業への態度の変化：職業適性の理解の深まりにより自己理解が高まっている。

## 用語解説

**職業訓練** 労働者に対して職業に必要な技能を習得させ、または向上させるために行う訓練。民間が実施するものと公共が実施するものがある。職業能力開発促進法第15条の6には、国及び都道府県は、労働者が段階的かつ体系的に職業に必要な技能及びこれに関する知識を習得することができるように的確な施設で職業訓練を行うものとするのが規定されている。これは公共職業訓練である。公共職業訓練であっても各種学校や専門学校、事業主団体等の民間企業への委託によって実施するものもある。

**職業訓練コース** 職業訓練は、大きく分けて普通職業訓練と高度職業訓練の2種類がある。本調査では普通職業訓練を対象としている。普通職業訓練には訓練期間を1年とする普通課程と、6ヶ月以下の短期課程がある。ともに技能の指導は職種別のコースを設けて行われるのが原則である。

**職業能力開発総合大学校** 職業能力開発促進法第二十七条に規定される職業能力開発施設。職業能力開発総合大学校は、職業訓練指導員になろうとする者又は職業訓練指導員に対し、必要な技能及びこれに関する知識を付与することによつて、職業訓練指導員を養成し、又はその能力の向上に資するための訓練を行う。また、職業能力の開発及び向上に関する調査及び研究を総合的に行っている。本校は神奈川県相模原市に所在するが、このほか東京都小平市に東京校が設置されており、東京校では、在職者や離転職者に対する職業訓練を行っている。本研究の対象となったのはこのうちの離転職者に対する訓練である。

**職業指導** 公共職業安定所が求職者に対して、就職を容易にするために職業に関する知識、技能の付与、情報提供を行うこと。

(雇用対策法第13条 (求職者に対する指導) 職業紹介機関は、求職者に対して、雇用情報、職業に関する調査研究の成果等を提供し、かつ、これに基づき職種、就職地その他の求職の内容、必要な技能等について指導することにより、求職者とその適性、能力、経験、技能の程度等にふさわしい職業を選択することを促進し、もつて職業選択の自由が積極的に生かされるように努めなければならない。)

職業安定法第22条 (職業指導の実施) 公共職業安定所は、身体又は精神に障害のある者、新たに職業に就こうとする者その他職業に就くについて特別の指導を加えることを必要とする者に対し、職業指導を行わなければならない。)



受講指示 公共職業安定所長がそのままでは技能面での求人とのミスマッチで就職の見込みが立たない求職者に対して職業訓練の受講を再就職促進のために指示すること。

(職業安定法第 19 条 (公共職業訓練のあっせん) 公共職業安定所は、求職者に対し、公共職業能力開発施設の行う職業訓練(職業能力開発総合大学校の行うものを含む。)を受けることについてあっせんを行うものとする)。

職業発達 職業との関わりにおいて人間が一定の方向に向かって成熟していくこと。

意思決定論 意思決定論といわれるものはゲーム理論などさまざまな分野でいくつかの理論があるが、本研究においてとりあげたのは職業選択に関する Gelatte,H.B.の理論である。人が職業を選択するときに、いくつかの選択肢のなかから一つを選択することになるが、それを選んだ結果に期待されるものとリスクと不確実性を予測しながら選択していくという考え方。

自己効力感 自分が直面する問題や将来、出会うであろうことらについて対処できる、うまくやっていけるという自己に対する認知、感覚。最近ではマスコミで自分の可能性への信念のようなもっと広い意味で使われることもある。

参考文献

- Gelatt,H.B.(1962) Decision making: A conceptual frame of reference for counseling.  
*Journal of counseling psychology*.vol.9. p240-245.
- Bandura,A.(1977) Self-efficacy: Toward a unifying theory of behavioral change.  
*Psychological review*. vol.84 (2) 191-215.
- Bandura,A.(1995) Self-efficacy in changing societies.Cambridge University Press.
- Super,D.E. (1984) Career and Life Development. *Career choice and Development*.  
p193-234. Duan Brown, Linda Brooks, and Associates, San Francisco:  
Jossey-Bass publishers.
- Cottle,T.J.(2001) *Hardest times. The trauma of long term unemployment*. Westport:  
Praeger Publishers.

---

労働政策研究報告書 No.23  
職業訓練受講生の意識と再就職行動  
職業訓練と求職活動

発行年月日 2005年3月22日  
編集・発行 独立行政法人 労働政策研究・研修機構  
〒177-8502 東京都練馬区上石神井 4-8-23  
(編集) 研究調整部研究調整課 TEL 03-5991-5102  
(販売) 広報部成果普及課 TEL 03-5903-6263  
FAX 03-5903-6115  
印刷・製本 ヨシダ印刷株式会社

---

© 2005

\*労働政策研究報告書全文はホームページで提供しております。(URL:<http://www.jil.go.jp/>)

---

労働政策研究報告書 No.23

職業訓練受講生の意識と再就職行動

職業訓練と求職活動

定価：840円（本体800円）

発行年月日 2005年3月22日

編集・発行 独立行政法人 労働政策研究・研修機構

〒177-8502 東京都練馬区上石神井 4-8-23

(編集) 研究調整部研究調整課 TEL 03-5991-5102

(販売) 広報部成果普及課 TEL 03-5903-6263

FAX 03-5903-6115

印刷・製本 ヨシダ印刷株式会社

---

© 2005 ISBN 4-538-88023-X

\*労働政策研究報告書全文はホームページで提供しております。(URL:<http://www.jil.go.jp/>)



The Japan Institute for Labour Policy and Training